

授業科目	精神看護方法	4 学年・前期・2 単位 (60 時間)	
		看護	必修

科目担当責任者	澤田いづみ (保健医療学研究棟 E207 号) e-mail : izumi@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	小川賢一、仙石泰仁、池田望、(煤賀隆宏)、(谷中みゆき)、(木村直友)、(田村美津子)、(阿部幸弘)、(常盤野晴子)、(橋本達志)、(丸子慎平)		
概要	精神看護方法では、精神看護を必要としている人々について、身体・心理・社会的側面から理解すること、そして看護援助に必要な知識および技術をその理論的背景から学習することを目的とする。精神科病院での治療場面および地域で生活している精神障がいをもつ人々とその家族を対象に援助関係を築き、看護するために必要な回復を支えるコミュニケーション、個別性に応じた安全な治療を助けること、安心できる環境で生活するために環境整備を行うこと、それらを通して対象者のリカバリーを支えることを学ぶ。その中で、問題解決モデルとストレングスモデルを理解し、ストレングスに着目した看護過程を通じて対象者の日常生活を支えレジリエンスを引き出すこと、リカバリーを支えるための多職種や資源の活用とチーム連携での協働について理解することに重点を置いた学習を行う。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 様々な精神障がいの特徴と環境が対象者の生活に及ぼす影響について説明できる。 2. 精神障がいをもつ人の回復を支えるコミュニケーションおよび治療的環境について説明できる。 3. 精神障がいをもつ人の苦勞、困難、ストレングス、レジリエンスに着目した看護援助について説明できる。 4. 精神障がいをもつ人の治療や回復を支えるプログラムについて説明できる。 5. 精神障がいをもつ人を支える地域資源および他職種との協働について説明できる。 6. 精神看護領域のアセスメントの特徴を理解し看護過程を説明できる。 7. 学習の課題について学生間で協力しながら学習を進めることができる。 		
関連科目	人間関係論、ヘルスアセスメント 2、疾病治療論 4、臨床心理学、精神看護学概論、精神看護実習、臨床看護コミュニケーション論		
評価	評価対象	評価割合 (%)	備考 受講態度は、グループ学習の参加状況、質問や発表態度から評価する。
	受講態度	20%	
	筆記試験	80%	
教科書	<ol style="list-style-type: none"> ①出口禎子ら [2022 年] 「ナーシング・グラフィカ精神看護学②精神障害と看護の実践」 メディカ出版 ②T.ヘザー・ハードマン [2021 年] 「NANDA- I 看護診断定義と分類 2021-2023」 医学書院 		
参考書	<ol style="list-style-type: none"> ①田中美恵子編著 [2015] 「精神看護学-学生-患者ストーリーで綴る実習展開-第2版」 医歯薬出版株式会社 ②太田保之・上野武治編 [2014] 「学生のための精神医学 第3版」 医歯薬出版株式会社 ③T・ヘザー・ハードマン著 [2018] 「NANDA 看護診断 定義と分類 2018-2020 原著第11版」 医学書院 ④萱間真美著 [2016] 「リカバリー・退院支援・地域連携のためのストレングスモデル実践活用術」 医学書院 ⑤宮本真巳著 [2019] 「改訂版 看護場面の再構成」 日本看護協会出版会 ⑥朝田隆、中島直、堀田英樹著 [2012] 「精神疾患の理解と精神科作業療法 第2版」 中央法規出版 		
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ形式で学習する機会が多いので積極的に他の学生と関わり協働で学習を進めること ・講義に引き続いてグループ学習を組み入れるので、2 コマ続けて出席すること ・開講日程・順番は適宜変更されることがある 		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	ガイダンス 治療環境としての精神科病院 精神保健福祉法 精神科における治療	事前：教科書第2部を読む 事後：学習内容のまとめ	講義	澤田
2	精神科看護における対象理解と支援 精神科治療における看護の役割 アセスメントの視点	事前：教科書該当箇所を読む 事後：学習内容のまとめ	〃	〃

3	統合失調症をもつ人の看護の実際 疾病の理解と治療 ソーシャルスキルズトレーニング	事前：教科書該当箇所を読む 事後：学習内容のまとめ	〃	(煤賀)
4	統合失調症をもつ人の看護の実際 事例による看護の展開	事前：教科書該当箇所を読む 事後：学習内容のまとめ	〃	〃
5	気分障がいをもつ人の看護の実際 疾病の理解と治療 認知行動療法	事前：教科書該当箇所を読む 事後：学習内容のまとめ	〃	澤田・小川
6	気分障がいをもつ人の看護の実際 事例による看護展開	事前：教科書該当箇所を読む 事後：学習内容のまとめ	〃	小川・澤田
7	アディクション問題をもつ人の看護の実際 疾病の理解と治療 治療と看護における心理社会的アプローチ	事前：教科書該当箇所を読む 事後：学習内容のまとめ	〃	(木村)
8	アディクション問題をもつ人の看護 回復を支援する自助グループの実際	事前：教科書該当箇所を読む 事後：学習内容のまとめ	講義・演習	(木村・未定)
9	発達障がいをもつ人の理解と援助 障害の理解と支援	事前：教科書該当箇所を読む 事後：学習内容のまとめ	講義	仙石
10	人格障がい・不安障がいをもつ人の看護	事前：教科書該当箇所を読む 事後：学習内容のまとめ	〃	澤田
11	不安障がいをもつ人の看護 心理教育と精神療法	事前：教科書該当箇所を読む 事後：学習内容のまとめ	〃	〃
12	ストレス関連障害と看護活動 トラウマインフォームドケア 災害時のストレスケア	事前：教科書該当箇所を読む 事後：学習内容のまとめ	〃	〃
13	薬物療法と看護 薬物療法の実際と副作用 アドヒアランスとコンコーダンス	事前：教科書該当箇所を読む 事後：学習内容のまとめ	〃	〃
14	精神科における心理検査 精神科で行われる心理検査とその意味	事前：教科書該当箇所を読む 事後：学習内容のまとめ	〃	(谷中)
15	精神科作業療法の実際 精神科作業療法におけるアセスメントと実践の基礎	事前：教科書該当箇所を読む 事後：学習内容のまとめ	〃	池田
16	精神科訪問看護 障害をもちながら地域で暮らすための支援	事前：教科書該当箇所を読む 事後：学習内容のまとめ	〃	(田村)
17	当事者が望む支援 急性期から地域移行まで	事前：教科書該当箇所を読む 事後：学習内容のまとめ	講義・演習	(橋本)・(丸子)
18	地域精神保健活動の実際 地域と医療をつなぐ支援活動 家族支援の実際	事前：教科書該当箇所を読む 事後：学習内容のまとめ	〃	(阿部)
19	精神科領域における看護過程の展開	事前：教科書該当箇所を読む 事後：学習内容のまとめ	〃	澤田
20	アセスメントと看護診断の実際	事前：看護診断の関連パターンを読む 事後：学習内容のまとめ	〃	澤田・小川
21	健康課題の特定、期待される成果の設定、計画立案	事前：看護診断の関連パターンを読む 事後：学習内容のまとめ	〃	〃
22	計画の実施と評価	事前：看護診断の関連パターンを読む 事後：学習内容のまとめ	〃	〃
23	面接技術1 ストレngthsに着目したインタビュー	事前：ストレngthsモデルについて調べる	〃	〃

		事後：学習内容のまとめ		
24	面接技術2 プロセスレコード	事前：プロセスレコードについての関連文献を読む 事後：学習内容のまとめ	〃	〃
25	精神障がいをもつ人を対象とした就労支援事業の実際	事前：教科書の地域で暮らす精神障害者への援助 I 就労継続支援事業所を読む 事後：学習内容のまとめ	講義	(常盤野)
26	就労支援事業所の利用者との交流	事前：ストレングスマッピングシートについての復習 事後：精神障害をもつ人の就労の意味をまとめる	演習	〃
27	実習ガイダンス(全体)	事前：病院についての関連情報を収集する 事後：実習目標を自分なりにまとめる	講義	澤田・小川
28	実習ガイダンス(病院別)	事前：病院についての関連情報を収集する 事後：実習目標を自分なりにまとめる	〃	〃
29	病院ガイダンス	事前：病院についての関連情報を収集する 事後：実習目標を自分なりにまとめる	演習	〃
30	病院ガイダンス	事前：病院についての関連情報を収集する 事後：実習目標を自分なりにまとめる	〃	〃